

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及び JIS Z 7253 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : デビュー™ 乳剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺菌剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

急性毒性 (経口) : 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

発がん性 : 区分 2

生殖毒性 : 区分 1B

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (気道刺激性)

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

特定標的臓器毒性（反復ばく露）（経口） : 区分2（肝臓）

誤えん有害性 : 区分1

水生環境有害性 短期（急性） : 区分2

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 飲み込むと有害。
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H315 皮膚刺激。
H318 重篤な眼の損傷。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H351 発がんのおそれの疑い。
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露（経口）による臓器の障害のおそれ（肝臓）。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き :

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

P301 + P310 + P330 飲み込んだ場合：直ちに医師 に連絡すること。口をすすぐこと。
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

医師に連絡すること。

P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

P331 無理に吐かせないこと。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P391 漏出物を回収すること。

保管:

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
フェンブコナゾール (ISO)	114369-43-6	12.5	8-(3)-1397
ソルベント ナフサ	64742-94-5	>= 40 - < 50	9-1691
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	15	5-113 8-(1)-1014 / 8-(1)-1013
2-メチルナフタレン	91-57-6	12.1885	4-80
ロジン	8050-09-7	>= 10 - < 20	
ナフタレン	91-20-3	6.5413	4-311
1-メチルナフタレン	90-12-0	5.8354	4-80
高沸点芳香族ナフサ	64742-94-5	>= 3 - < 10	9-1691

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

1, 2, 4-トリメチルベンゼン	95-63-6	$\geq 0.3 - < 1$	3-7, 3-3427
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	108-67-8	$\geq 0.1 - < 0.25$	3-3427, 3-7
1, 2, 3-trimethylbenzene	526-73-8	$\geq 0.1 - < 0.3$	3-3427, 3-7

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 皮膚に付着した場合 : 呼吸困難の場合は、有資格者が酸素吸入を行う。
汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で15~20分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
- 眼に入った場合 : 作業場内に適切な緊急用安全シャワー設備を設置すること。
直ちに30分以上流水で洗眼し続ける。5分洗眼してからコンタクトレンズをはずして、また洗い続ける。迅速に医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。
- 飲み込んだ場合 : すぐに使用できる適切な緊急用洗眼設備を設置すること。
中毒情報センターに連絡するか直ちに医師の診察を受ける。可能なら一杯の水を少しずつ飲ませる。医師の指示がない限り吐かせない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 呼吸器感作性、または喘息様症状を起こすことがある。気管支拡張薬、去痰薬、鎮咳薬が有用であると思われる。
 $\beta 2$ 作用薬の吸入と、経口もしくは非経口のグルココステロイド剤で気管支痙攣を治療する。
患者に十分な換気および酸素吸入を維持すること。
眼の化学熱傷は更なる洗浄が必要になることもある。直ちに医師(可能であれば眼科医)の診察を受ける。
熱傷を負っている場合は、除染ののち、熱による熱傷と同じように治療する。
特別な解毒剤はない。
ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。
中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。
過剰暴露すると、喘息をはじめとする既存の呼吸障害(気腫、

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

気管支炎、反応性気道機能不全症候群)を悪化させることがある。
皮膚接触により既存の皮膚炎が悪化することがある。

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------------------|--|
| 適切な消火剤 | : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO ₂)
粉末消火剤 |
| 使ってはならない消火剤
特有の危険有害性 | : 知見なし。
: 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。 |
| 有害燃焼副産物 | : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。
燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
窒素酸化物 (NO _x)
炭素酸化物 |
| 特有の消火方法 | : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。 |

6. 漏出時の措置

- | | |
|---------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護
具及び緊急時措置 | : 十分な換気を確保する。
保護具を使用する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。 |
| 環境に対する注意事項 | : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 |

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。

汚染された洗浄水を保管し、処分する。

流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目 12 の環境影響情報を参照。

封じ込め及び浄化の方法及び : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。
機材 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。
漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。
不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

局所排気，全体換気 : 局所換気を行い使用する。
安全取扱注意事項 : 取扱い中のこぼれを防止するには、金属製のトレイにボトルを載せておく。
作業室の換気や排気を十分に行う。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
皮膚や衣服に付けない。
蒸気やスプレーミストを吸い込まない。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
容器を密閉しておくこと。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避 : 強酸
強塩基類

保管

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

- 安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためま
っすぐ立てておく。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 強酸化剤
有機過酸化物
爆発物
ガス
- 安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形 態)	管理濃度 / 基準濃 度 / 許容濃度	出典
ソルベント ナフサ	64742-94-5	TWA	100 mg/m ³	Corteva OEL
		STEL	300 mg/m ³	Corteva OEL
		TWA	200 mg/m ³ (総炭化水素蒸気)	ACGIH
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	OEL-M	1 ppm 4 mg/m ³	日本産業衛生 学会 (許容濃 度)
詳細情報: 経皮吸収				
2-メチルナフタレン	91-57-6	TWA	0.5 ppm	ACGIH
ロジン	8050-09-7	TWA (吸入濃 度)	0.001 mg/m ³ (総樹脂酸)	ACGIH
ナフタレン	91-20-3	ACL	10 ppm	安衛法 (管理 濃度)
		TWA	10 ppm	Dow IHG
		STEL	15 ppm	Dow IHG
高沸点芳香族ナフサ	64742-94-5	TWA	10 ppm	ACGIH
		TWA	100 mg/m ³	Corteva OEL
		STEL	300 mg/m ³	Corteva OEL
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	95-63-6	TWA	200 mg/m ³ (総炭化水素蒸気)	ACGIH
		OEL-M	25 ppm 120 mg/m ³	日本産業衛生 学会 (許容濃 度)
		TWA	25 ppm	ACGIH
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	108-67-8	TWA	10 ppm	ACGIH
		OEL-M	25 ppm 120 mg/m ³	日本産業衛生 学会 (許容濃 度)

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

		TWA	10 ppm	ACGIH
1, 2, 3-trimethylbenzene	526-73-8	OEL-M	25 ppm 120 mg/m ³	日本産業衛生学会（許容濃度）
		TWA	10 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	5-ヒドロキシ-N-メチル-2-ピロリドン	尿	シフト終了時（暴露停止後できるだけ早く）	100 mg/l	ACGIH BEI

設備対策

- : 空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具

- : 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。

手の保護具

備考

- : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ポリエチレン。エチルビニルアルコールラミネート (EVAL)。スチレン/ブタジエンゴム。許容できる手袋の素材の例：ブチルゴム。塩素化ポリエチレン。天然ゴム (ラテックス)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム (ニトリルまたは NBR)。ポリ塩化ビニル (PVC または ビニル)。バイトン。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具

- : ケミカルゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具

- : この物質に耐薬品性のある保護衣を着用する。作業内容に応じて、顔面シールド、長靴、エプロンまたは全身防護服などの保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

デビュー[™] 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

物理状態	: 液体
色	: 黄色
臭い	: 臭いのデータなし。
臭いのしきい(閾)値	: データなし
融点/ 範囲	: 液体には該当しない
凝固点	: データなし
沸点/沸騰範囲	: データなし
可燃性 (固体、気体)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発範囲の上限 / 可燃上限値	: データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	: データなし
引火点	: 96 ° C 方法: 密閉式, 密閉式引火点試験
pH	: データなし
蒸発速度	: データなし
自然発火点	: データなし
粘度 動粘度 (動粘性率)	: データなし
溶解度 水溶性	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度 密度	: 1.048 gPcm3
相対ガス密度	: データなし
爆発特性	: データなし

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

酸化特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
通常の状態では安定。
危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。
特に言及すべき危害要因はない。
爆発性の粉じん混合気を形成することがある。
避けるべき条件 : 知見なし。
混触危険物質 : 強酸
強塩基類
危険有害な分解生成物 : 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。
分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:
窒素酸化物 (NO_x)
炭素酸化物

11. 有害性情報**急性毒性****製品:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 300 - < 2,000 mg/kg
急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

成分:**フェンブコナゾール (ISO):**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 2.10 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
症状: この濃度では死に至らない。

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

備考: 到達可能な最高濃度。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。

ソルベント ナフサ:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : 備考: 長期間、ミストに過剰暴露すると有害影響を起こすことがある。
過剰暴露すると、上気道(鼻と喉)および肺に刺激作用を来すことがある。
過剰暴露の症状は麻酔作用ないし催眠作用であると思われる; めまいおよび眠気が認められることがある。

LC50 (ラット): > 4.8 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: 粉じん/ミスト

アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

LC50 (ラット): > 0.2 mg/l

曝露時間: 4 h

試験環境: 蒸気

症状: 飽和状態での暴露による死亡は認められなかった。

アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

備考: 類似物質について

N-メチル-2-ピロリドン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オスおよびメス): 4,150 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
症状: この濃度では死に至らない。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

2-メチルナフタレン:

急性毒性 (経口) : 備考: 誤飲した場合、弱い毒性を示す。
通常の作業での誤飲では傷害は起こらないであろう。ただし、大量に誤飲すると傷害を引き起こすことがある。

LD50 (ラット): 1,630 mg/kg

ロジン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

LD50 (マウス): 4,100 mg/kg

LD50 (ラット, オスおよびメス): 2,800 mg/kg

急性毒性 (吸入) : 備考: 加熱された物質から発生した蒸気により、有害影響を起こすことがある。
粉塵は上部呼吸器官(鼻や喉)を刺激するかもしれない。
咳、胸苦しきや胸の不快感、呼吸困難等の症状が生じることがある。

LC50 (ラット): 1.5 mg/l

曝露時間: 6 h

試験環境: 粉じん/ミスト

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

ナフタレン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

致死量 (ヒト): 5 - 15 g

方法: 推定値。

備考: 過剰暴露によって溶血を引き起こすことがあり、従って血液の酸素運搬機能が低下する。

ヒトがナフタレンを経口摂取すると、溶血性貧血が起こった。

誤飲による毒性は、動物よりもヒトの方が強いかもしれない。

ヒトでは、以下の症状が認められることがある:

意識混濁。

倦怠感。

筋攣縮あるいは痙攣

痙攣。

昏睡。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

急性毒性 (吸入) : 備考: 過剰暴露すると、上気道(鼻と喉)に刺激作用を来すことがある。
過剰暴露すると、肺障害を来すことがある。
過剰暴露による徴候および症状は以下を含む:
頭痛。
意識混濁。
発汗。
吐き気や嘔吐。

LC50 (ラット): > 0.41 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
症状: LC50 値は、到達可能な最高濃度よりも大きい。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 2,500 mg/kg
備考: ヒトの症例報告は、特に子供で、有毒量のナフタレンが経皮吸収されることがあることを示している。

LD50 (ウサギ): > 2,500 mg/kg

1-メチルナフタレン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 1,840 mg/kg

急性毒性 (経皮) : LDLo (ウサギ): 7,500 mg/kg

高沸点芳香族ナフサ:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
備考: 類似物質について

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 4.688 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 類似物質について
到達可能な最高濃度。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 3,160 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。
備考: 類似物質について

1,2,4-トリメチルベンゼン:

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 3,400 mg/kg
- 急性毒性（吸入） : 備考: 長期間過剰暴露すると、重篤な有害影響を起こすことがあり、死に至ることもある。
過剰暴露すると、上気道(鼻と喉)および肺に刺激作用を来すことがある。
中枢神経系に影響することがある。
過剰暴露の症状は麻酔作用ないし催眠作用であると思われる；めまいおよび眠気が認められることがある。
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 3,160 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

1,3,5-トリメチルベンゼン:

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オス): 6,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入） : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 10.2 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 蒸気は上気道(鼻と喉)を刺激することがある。
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 3,440 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

皮膚腐食性/刺激性**製品:**

- 結果 : 皮膚刺激性

成分:**N-メチル-2-ピロリドン:**

- 種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激性

ロジン:

- 結果 : 皮膚刺激なし

1,2,4-トリメチルベンゼン:

- 結果 : 皮膚刺激性

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

結果 : 腐食性

成分:**N-メチル-2-ピロリドン:**種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激**ロジン:**

結果 : 眼への刺激なし

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

結果 : 眼への刺激

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:種 : モルモット
アセスメント : 皮膚感作性なし。**成分:****フェンブコナゾール (ISO):**種 : モルモット
結果 : 皮膚感作性なし。**ソルベント ナフサ:**備考 : 類似物質について
ヒトでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。備考 : 呼吸器感作性:
関連のあるデータは得られていない。**N-メチル-2-ピロリドン:**種 : モルモット
アセスメント : 皮膚感作性なし。**ロジン:**

アセスメント : 皮膚感作性なし。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

備考 : マウスに接触アレルギーの可能性は認められなかった。
 モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。
 皮膚接触により、過敏な人では感作が起こることがある。

備考 : 呼吸器を過敏化させない。
 : 頻度は低いアレルギー性呼吸反応を示すことがある。

ナフタレン:

アセスメント : 皮膚感作性なし。
 備考 : 一部の人では皮膚接触によりアレルギー性皮膚反応を示すことがある。
 モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性 :
 関連のあるデータは得られていない。

高沸点芳香族ナフサ:

備考 : 類似物質について
 モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性 :
 関連のあるデータは得られていない。

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

備考 : 類似物質について
 モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性 :
 関連のあるデータは得られていない。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

アセスメント : 皮膚感作性なし。
 備考 : モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

備考 : 呼吸器感作性 :
 関連のあるデータは得られていない。

生殖細胞変異原性

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。、動物遺伝毒性試験は陰性だった。

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

ソルベント ナフサ:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。 , 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

N-メチル-2-ピロリドン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。 , 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

2-メチルナフタレン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。

ナフタレン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

高沸点芳香族ナフサ:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : 類似物質について、In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。 , 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。 , 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。 , 動物遺伝毒性試験は陰性だった。

1, 2, 3-trimethylbenzene:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。

発がん性**成分:****フェンブコナゾール (ISO):**

発がん性 - アセスメント : 実験動物で発がん性が認められた。 , しかし、影響は特定の種においてでありヒトには適用しない。

ソルベント ナフサ:

発がん性 - アセスメント : 動物実験において発がん性の限定的な証拠がある

いくつかの試験動物で発がん性のあったナフタレンを含有。 ,

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

ヒトでは、ナフタレン製造に関わる作業員に、発がん性に関する限定的な証拠が認められる。ラットを対象にした限定的な経口投与試験の結果は陰性であった。

N-メチル-2-ピロリドン:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

2-メチルナフタレン:

発がん性 - アセスメント : 入手可能なデータは、発がん性を評価するのに十分ではない。

ロジン:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

ナフタレン:

発がん性 - アセスメント : 動物実験において発がん性の限定的な証拠がある

いくつかの実験動物で発がん性が認められた。、ヒトでは、ナフタレン製造に関わる作業員に、発がん性に関する限定的な証拠が認められる。ラットを対象にした限定的な経口投与試験の結果は陰性であった。

生殖毒性**成分:****フェンブコナゾール (ISO):**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、雌の生殖を阻害することを示した。実験動物において、母体毒性を示す用量で胎児毒性が認められた。、動物試験で、催奇形性はなかった。

ソルベント ナフサ:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

N-メチル-2-ピロリドン:

生殖毒性 - アセスメント : 動物実験によると発育への悪影響が明確にある。軽度ないし検知されない程度の母体毒性を示す高い用量で、N-メチルピロリドンにより、実験動物の胎児に毒性影響が認められた。

ロジン:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。動物実験では退治発育への影響は無かった。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

ナフタレン:

生殖毒性 - アセスメント : 入手可能データは生殖影響を決定するには不十分である。
動物試験で、催奇形性はなかった。

高沸点芳香族ナフサ:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
類似物質について、動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験では、生殖を阻害しなかった。
実験動物において、母体毒性を示す用量で胎児毒性が認められた。、動物試験で、催奇形性はなかった。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、親動物に対して重大な毒性を示した用量においてのみ、生殖に対する有害影響が認められた。
実験動物において、母体毒性を示す用量で胎児毒性が認められた。、動物試験で、催奇形性はなかった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**製品:**

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

成分:**フェンブコナゾール (ISO):**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

ソルベント ナフサ:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

N-メチル-2-ピロリドン:

暴露の主経路 : 吸入
標的臓器 : 気道
アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

2-メチルナフタレン:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

ロジン:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

ナフタレン:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

1-メチルナフタレン:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

高沸点芳香族ナフサ:

暴露の主経路 : 吸入
アセスメント : 眠気又はめまいのおそれ。

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

暴露の主経路 : 吸入
標的臓器 : 気道
アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

暴露の主経路 : 吸入
標的臓器 : 気道
アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

1, 2, 3-trimethylbenzene:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）としては区分に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

暴露の主経路	:	経口
標的臓器	:	肝臓
アセスメント	:	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

反復投与毒性**成分:**

フェンブコナゾール (ISO):

備考	:	動物では、以下の臓器に影響することが報告されている： 肝臓。
----	---	-----------------------------------

ソルベント ナフサ:

備考	:	動物では、以下の臓器に影響することが報告されている： 肺。 消化器官。 甲状腺。 尿路。 これらの影響が生じる摂取量は、使用中の暴露による想定される摂取量の何倍も高い摂取量である。 ナフタレン蒸気やダストの繰り返し暴露で、ヒトに対し、白内障や他の眼の影響が報告されている。
----	---	--

N-メチル-2-ピロリドン:

備考	:	入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。
----	---	--------------------------------------

2-メチルナフタレン:

備考	:	動物では、以下の臓器に影響することが報告されている： 肺。 しかし、影響は特定の種においてでありヒトには適用しない。
----	---	--

ロジン:

備考	:	入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。
----	---	--------------------------------------

ナフタレン:

備考	:	動物にみられる所見には以下のものがある： 呼吸器への影響。 過剰暴露によって溶血を引き起こすことがあり、従って血液
----	---	---

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

の酸素運搬機能が低下する。
ナフタレン蒸気やダストの繰り返し暴露で、ヒトに対し、白内障や他の眼の影響が報告されている。
ヒトがナフタレンを経口摂取すると、溶血性貧血が起こった。

1-メチルナフタレン:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

高沸点芳香族ナフサ:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

1,2,4-トリメチルベンゼン:

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている : 気道。

1,3,5-トリメチルベンゼン:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、追加的な顕著な有害影響は予期されない。

1,2,3-trimethylbenzene:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

誤えん有害性**製品:**

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

成分:**フェンブコナゾール (ISO):**

物性上、誤えん有害性は低い。

ソルベント ナフサ:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

N-メチル-2-ピロリドン:

物性上、誤えん有害性は低い。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

2-メチルナフタレン:

物性上、誤えん有害性は低い。

ロジン:

物性上、誤えん有害性は低い。

ナフタレン:

物性上、誤えん有害性は低い。

1-メチルナフタレン:

飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ。

高沸点芳香族ナフサ:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

1, 2, 3-trimethylbenzene:

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

12. 環境影響情報**生態毒性****製品:**

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種ではLC50/EC50 1~10 mg/L)。

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 7.73 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia (ミジンコ属)): 4.84 mg/l
曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (藻類): 15.3 mg/l
曝露時間: 72 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

性)

成分:**フェンブコナゾール (ISO):**

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 0.68 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 1.5 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 2.2 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202

LC50 (塩水アミ (Mysidopsis bahia)): 0.63 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : EbC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 0.33 mg/l
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 201

EbC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 0.4 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

M-ファクター (水生環境有害
性 短期 (急性)) : 1

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.32
mg/l
曝露時間: 21 d
試験タイプ: 半止水式

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.078 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性)
曝露時間: 21 d
試験タイプ: 流水式試験

M-ファクター (水生環境有害
性 長期 (慢性)) : 1

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 20 mg/l
曝露時間: 3 h

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

方法: OECD 209 試験

- 土中生物に対する毒性 : LC50 (*Eisenia fetida* (ミミズ)): > 50 mg/kg
曝露時間: 14 d
- 地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 2150 mg/kg 体重
混餌 LC50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): 4050 mg/kg 餌
混餌 LC50 (*Anas platyrhynchos* (マガモ)): 2110 mg/kg 餌
曝露時間: 8 d
- 接触 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 292 µg/bee
曝露時間: 48 h
エンドポイント: 死亡率

ソルベント ナフサ:

- 魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50 1~10 mg/L)。

LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): 3.0 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験

- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 1.1 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験

- 藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 7.9 mg/l
曝露時間: 72 h

- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (*Daphnia pulex* (ミジンコ)): 5.2 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) エンドポイント: 死亡率
曝露時間: 21 d
方法: 方法不特定.

- 地上生物に対する毒性 : 備考: 物質は、混餌投与すると、事実上、鳥に対して毒性を示さない(LC50 > 5000 ppm)。, 物質は事実上、鳥に対して急性毒性を示さない(LD50 > 2000 mg/kg)。

混餌 LC50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 6,500 ppm
曝露時間: 5 d

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2,250 mg/kg

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

N-メチル-2-ピロリドン:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 5,000 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験

LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 1,072 mg/l

曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1,000 mg/l
曝露時間: 24 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): > 500 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD テストガイドライン 201 あるいは同等のもの

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 12.5 mg/l
曝露時間: 21 d
試験タイプ: 半止水式
方法: OECD テストガイドライン 211 あるいは同等のもの

2-メチルナフタレン:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50 1~10 mg/L)。

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 1.5 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.5 mg/l
曝露時間: 48 h

ロジン:

魚毒性 : 備考: 物質は事実上、水生生物に対して急性毒性を示さない

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

(試験した種のうち最も感受性の高い種で
LC50/EC50/EL50/LL50 >100 mg/L)。

備考: 物質は水生生物に対し危険性があるとは分類されない。
(最も感受性の高い種で LC50/EC50/IC50/LL50/EL50 が
100mg/L 以上)

LL50 (Brachydanio rerio (ゼブラフィッシュ)): < 10 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 半止水式
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EL50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 911 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 1,000 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 10,000 mg/l
エンドポイント: 呼吸速度
曝露時間: 3 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 209

ナフタレン:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して高い急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種で LC50/EC50/EL50/LL50 0.1 ~1 mg/L)。

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.11 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.6 - 24.1 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Skeletonema costatum (スケルトネマ・コスタトゥム)): 0.4 mg/l
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 生長率阻害

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (その他): 0.37 mg/l
エンドポイント: 死亡率
曝露時間: 40 d
試験タイプ: 流水式

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 1

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

1-メチルナフタレン:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50 1~10 mg/L)。

LC50 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 9 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.2 - 1.4 mg/l
曝露時間: 48 h

高沸点芳香族ナフサ:

魚毒性 : 備考: 類似物質について
物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50 1~10 mg/L)。

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 2 - 5 mg/l
曝露時間: 96 h
備考: 類似物質について

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 3 - 10 mg/l
曝露時間: 48 h
備考: 類似物質について

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 11 mg/l
曝露時間: 72 h
備考: 類似物質について

地上生物に対する毒性 : 備考: 物質は事実上、鳥に対して急性毒性を示さない(LD50 > 2000 mg/kg)。

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50 1~10 mg/L)。

藻類/水生生物に対する毒性 : EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 2.356 mg/l
曝露時間: 96 h

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

魚毒性 : 備考: 物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50 1~10 mg/L)。

LC50 (Carassius auratus (金魚)): 12.5 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: 方法不特定。

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 6 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式
方法: OECD テストガイドライン 202 あるいは同等のもの

藻類/水生生物に対する毒性 : EbC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 25 mg/l
エンドポイント: バイオマス
曝露時間: 48 h
方法: OECD テストガイドライン 201 あるいは同等のもの

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.4 mg/l
エンドポイント: 子孫の数
曝露時間: 21 d
試験タイプ: 半止水式
方法: OECD テストガイドライン 211 あるいは同等のもの

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に毒性。

残留性・分解性**成分:**

フェンブコナゾール (IS0):

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

生分解性 : 備考: 物質は難分解性であると考えられる(環境中)。生分解性に関する OECD/EEC 試験では易分解性にならなかった。

結果: 易分解性ではない。

生分解: 17 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テストガイドライン 301D あるいは同等のもの

備考: 10-day Window: 不合格

光分解性 : 速度定数: 9.7775E-12 cm³/s

ソルベント ナフサ:

生分解性 : 備考: 生分解は好氣的条件(有酸素)で起こるであろう。厳格な OECD 試験において、この物質は易分解とは分類されないが、しかしこれらの結果は、この物質が環境中で生分解しないと必ずしも意味するものではない。

生分解: 30 - 41 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テストガイドライン 301D あるいは同等のもの

備考: 10-day Window: 不合格

N-メチル-2-ピロリドン:

生分解性 : 結果: 易分解性。
生分解: 91 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 合格

含有量: 30 mg/l

生分解: 73 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テストガイドライン 301C あるいは同等のもの

備考: 10-day Window: 非該当

生分解: > 90 %

曝露時間: 8 d

方法: OECD テストガイドライン 302B あるいは同等のもの

備考: 10-day Window: 非該当

ThOD : 2.58 kg/kg

光分解性 : 試験タイプ: 半減期(間接光分解)
感作性: OH ラジカル
速度定数: 2.199E-11 cm³/s
方法: 推定値。

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

2-メチルナフタレン:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
備考: 環境中の分解は遅いと考えられる。

ロジン:

生分解性 : 結果: 易分解性。
備考: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。

生分解: 71 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301D
備考: 10-day Window: 合格

ナフタレン:

生分解性 : 備考: 好氣的静的試験条件での生分解は高い。(BOD20 or BOD28/ThOD > 40%)

生化学的酸素要求量 (BOD) : 57.000 %
インキュベーション時間: 5 d

71.000 %
インキュベーション時間: 10 d

71.000 %
インキュベーション時間: 20 d

ThOD : 3.00 kg/kg

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)
感作性: OH ラジカル
含有量: 1,500,000 l/cm³
速度定数: 2.16E-11 cm³/s
方法: 推定値。

1-メチルナフタレン:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
備考: 物質は難分解性であると考えられる(環境中)。生分解性に関する OECD/EEC 試験では易分解性にならなかった。

生分解: 0 - 2 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301C あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 非該当

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

高沸点芳香族ナフサ:

生分解性 : 備考: 物質は本質的に生分解性である。OECD の本質的生分解性試験では生物分解は 20% を超える。

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

生分解性 : 結果: 易分解性。
備考: 物質は最終的に生分解性である。OECD の本質的生分解性試験では無機化が 70% 超に達する。

生分解: 100 %

曝露時間: 1 d

結果: 分解性なし

備考: 物質は難分解性であると考えられる(環境中)。生分解性に関する OECD/EEC 試験では易分解性にならなかった。

含有量: 100 mg/l

生分解: 4 - 18 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テストガイドライン 301C あるいは同等のもの

備考: 10-day Window: 非該当

ThOD : 3.19 kg/kg

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)
感作性: OH ラジカル
速度定数: 1.670E-11 cm³/s
方法: 推定値。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

生分解性 : 結果: 分解性なし
備考: 厳格な OECD 試験において、この物質は易分解とは分類されないが、しかしこれらの結果は、この物質が環境中で生分解しないと必ずしも意味するものではない。

生分解: 0 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テストガイドライン 301C あるいは同等のもの

備考: 10-day Window: 不合格

生分解: 50 %

曝露時間: 4.4 d

方法: 計算値。

備考: 10-day Window: 非該当

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

生体蓄積性

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

生体蓄積性 : 種: Lepomis macrochirus (ブルーギル)
生物濃縮因子 (BCF) : 160
曝露時間: 28 h

n-オクタノール／水分配係数 :
(log 値)

log Pow: 3.23
方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

ソルベント ナフサ:

生体蓄積性 : 種: 魚類
生物濃縮因子 (BCF) : 61 - 159

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 2.9 - 6.1
(log 値)

方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は高い。 (BCF > 3000、Log Pow : 5-7)

N-メチル-2-ピロリドン:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -0.38
(log 値)

方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は低い。 (BCF < 100 または Log Pow < 3)

2-メチルナフタレン:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.86
(log 値)

方法: 推定値。
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

ロジン:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 8
方法: 推定値。

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 1.9 - 7.7
(log 値)

備考: 生物濃縮の可能性は低い。 (BCF < 100 または Log Pow < 3)

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

ナフタレン:

生体蓄積性 : 種: 魚類
生物濃縮因子 (BCF) : 40 - 300
曝露時間: 28 d
方法: 測定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.3
(log 値) 方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

1-メチルナフタレン:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.87
(log 値) 方法: 推定値。
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

高沸点芳香族ナフサ:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: 類似物質について
(log 値) 生物濃縮の可能性は高い。 (BCF > 3000、Log Pow : 5-7)

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

生体蓄積性 : 種: Cyprinus carpio (コイ)
生物濃縮因子 (BCF) : 33 - 275
曝露時間: 56 d
含有量: 0.2 mg/l
方法: 測定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.63
(log 値) 方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

生体蓄積性 : 種: Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)
生物濃縮因子 (BCF) : 161
方法: 測定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.42
(log 値) 方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。 (BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

1, 2, 3-trimethylbenzene:

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: 生物濃縮の可能性は中程度。(BCF : 100-3000、Log (log 値) Pow : 3-5)

log Pow: 3.66
方法: 測定値

土壤中の移動性**成分:****フェンブコナゾール (ISO):**

環境中の分布 : Koc: 4425
備考: 土壤中移動性がわずかである (Koc 2000~5000)。

ソルベント ナフサ:

環境中の分布 : 備考: データなし。

N-メチル-2-ピロリドン:

環境中の分布 : Koc: 21
方法: 推定値。
備考: 土壤中移動性がきわめて大きい (Koc 0~50)。
ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。

2-メチルナフタレン:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

ロジン:

環境中の分布 : Koc: 5357
備考: 土壤中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc > 5000)

ナフタレン:

環境中の分布 : Koc: 240 - 1300
方法: 測定値
備考: 土壤中移動性が中程度である (Koc 150~500)。

高沸点芳香族ナフサ:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

1,2,4-トリメチルベンゼン:

環境中の分布 : Koc: 720
方法: 推定値。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

備考: 土壌中移動性が小さい(Koc 500~2000)。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

環境中の分布 : Koc: 741. 65
方法: 推定値。
備考: 土壌中移動性が小さい(Koc 500~2000)。

1, 2, 3-trimethylbenzene:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性**成分:****フェンブコナゾール (ISO):**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ソルベント ナフサ:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

N-メチル-2-ピロリドン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

2-メチルナフタレン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ロジン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ナフタレン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

1-メチルナフタレン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

高沸点芳香族ナフサ:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

1, 2, 3-trimethylbenzene:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響**成分:****フェンブコナゾール (ISO):**

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性(PBT)であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性(vPvB)であるとは見なされない。

ソルベント ナフサ:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

N-メチル-2-ピロリドン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

2-メチルナフタレン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。

ロジン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

ナフタレン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

1-メチルナフタレン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

高沸点芳香族ナフサ:

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性 (PBT) であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性 (vPvB) であるとは見なされない。

1, 2, 4-トリメチルベンゼン:

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性 (PBT) であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性 (vPvB) であるとは見なされない。

1, 3, 5-トリメチルベンゼン:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性 (vPvB) があるとは考えられていない。

1, 2, 3-trimethylbenzene:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国/都道府県/市町村の規

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Solvent naphtha (petroleum), heavy aromatic, FENBUCONAZOLE)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (Solvent naphtha (petroleum), heavy aromatic, FENBUCONAZOLE)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 964
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 964

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Solvent naphtha (petroleum), heavy aromatic, FENBUCONAZOLE)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当
備考	: Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当) 供給された状態の製品には非該当。

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第三石油類, 非水溶性液体, 危険等級 III

労働安全衛生法

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

化学名
ナフタレン

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
N-メチル-2-ピロリドン	588 の 2	>=10 - <20
ロジン	632	>=10 - <20
ナフタレン	408	>=3 - <10
石油ナフサ	330	>=50 - <60
メチルナフタレン	582 の 2	>=10 - <20
トリメチルベンゼン	404	>=1 - <3

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
N-メチル-2-ピロリドン	588 の 2
ロジン	632
ナフタレン	408
石油ナフサ	330
メチルナフタレン	582 の 2

デビュー™ 乳剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2023/03/17 800080004366 初回作成日: 2023/03/17

トリメチルベンゼン	404
-----------	-----

特定化学物質障害予防規則 - 第二類物質

化学名
ナフタレン

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023年3月31日まで

第一種指定化学物質

化学名	政令番号	含有量 (%)
(RS) - 4 - (4 - クロロフェニル) - 2 - フェニル - 2 - (1H - 1, 2, 4 - トリアゾール - 1 - イルメチル) ブチロニトリル	119	13
メチルナフタレン	438	18
ナフタレン	302	6.5

2023年4月1日から

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
N - メチル - 2 - ピロリドン	746	15
メチルナフタレン	438	18
ナフタレン	302	6.5
トリメチルベンゼン	691	1.3

第二種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
(RS) - 4 - (4 - クロロフェニル) - 2 - フェニル - 2 - (1H - 1, 2, 4 - トリアゾール - 1 - イルメチル) ブチロニトリル	119	13

農薬取締法

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)
Corteva OEL : Corteva Occupational Exposure Limit

デビュー™ 乳剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/03/17	800080004366	初回作成日: 2023/03/17

Dow IHG	:	ダウ社内ガイドライン
安衛法 (管理濃度)	:	作業環境評価基準、健康障害防止指針
日本産業衛生学会 (許容濃度)	:	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度
ACGIH / TWA	:	8 時間、時間加重平均
Corteva OEL / STEL	:	短時間暴露限度
Corteva OEL / TWA	:	時間加重平均
Dow IHG / STEL	:	短時間暴露限度
Dow IHG / TWA	:	時間加重平均
安衛法 (管理濃度) / ACL	:	管理濃度、基準濃度
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M	:	許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA